

熊本県玉名市

くらた

ゆみ

葉たぼこ農家

倉田

裕美さん



実家を継いでご主人と共に就農！地域農業の発展ため、若手代表として明るく元気に頑張ってます！



注目

略歴

2014年に就農。主な生産物は葉たぼこ(2.2ha)と主食用米(4.5ha)。

元々は、農業や農家の嫁をやるつもりは全くなかったが、前の職場で出会ったご主人との結婚とご両親の病気がきっかけとなり、二人で裕美さんの実家で農業を継ぐことになった。

JTたぼこ女性部荒玉地区代表。また、地域の集落営農組織の副組合長にも選出された。若い農業者が少なく(女性では最年少)、10年後、高齢の生産者が農業を辞めると生産者が激減するという状況の中、組織の法人化を目指して取り組みを進めている。今後益々、地域での活躍が期待される。

2018年、農業女子プロジェクトに加入。きっかけは、父親から経営を譲り受けることになり、色々情報を探していた時に見つけて登録しました。

たぼこ農家はご夫婦でやられているところも多いですが、それ以外は農家のお嫁さんでも農業以外の仕事をしている人が多く、近所に女性の農業者が少ない。女性ならではの目線で相談できる仲間や情報が欲しいです！

女性で実家を継いで農業を頑張っていることに対して、周りには応援してくれています。

農業は大事だけど、安定していないので子供には継がせたくない...という人も多いですが、後継者を作っていくことが今一番大事だと思います！



ご自宅近くの広々とした米のほ場

★★今後の目標★★

女性目線での意見が欲しいと言われることがあるが、農業初めてまだ7年目でたぼこ米しか作っておらず、6次産業化等もやっていないので、なかなか意見が出せない。これから女性農業者の仲間を増やして色々なアイデアをもらい、男性中心の地域農業の中でより多くの意見を出していくなど、女性も農業に入りしっかりやっていけるというのを見せていきたい。



葉たぼこ栽培では畝立てのタイミングが特に重要です。

今年、集落営農法人を立ち上げる予定だったが、コロナの影響で地権者との話ができなくなりストップしている。ほ場の整備も熊本地震前から取り組み始めたが、地震の影響で重機が来なくなったりして、暗渠を入れてもらい完成するまであと2年くらいかかる。当初、トマトのハウス団地にする予定だったが、価格下落のため断念。現在、法人化した後の売上げをどうするか、米以外に売り出せる品目を検討している。

～これから頑張る女性農業者へのひとことメッセージ～
「農業は、夫婦で一緒に出来るし楽しいですよ！」



Instagram : kurata_farm (倉田農園)